



成田のおどり花見 4/3

春を飾る伝統行事



1

旧成田町の^{にょにんこう}女人講が神仏を巡って伝統の踊りを奉納する「成田のおどり花見」が町内各所で行われました。江戸時代の元禄年間ごろから受け継がれ、県指定無形民俗文化財に指定されているこの行事。今年の当番町である幸町の女人講の皆さんが、三ノ宮埴生神社を出発地として7町内の神社や仏堂を回り、悪疫退散や五穀豊穡を祈願して弥勒踊りを奉納しました。

1 弥勒踊りを奉納 2 扇子を使ったポーズが決まる 3 装飾された花車も巡回 4 太鼓を打って称え歌を詠む



2



3



4

市内の桜 3・4月

季節の花がまちを染める



1

市内各地で、満開の桜がまちを彩りました。開花日以降、曇りや雨のぐずついた天候が続いた今年のお花見シーズンでしたが、貴重な青空が広がった際には、さくらの山に大勢の人が詰めかけ、春の訪れを告げる花を堪能していました。

1 さくらの山では大迫力の飛行機と一緒に 2 桜吹雪舞うグリーンウォーターパーク 3 電車のトンネル越しに 4 外小代公園からニュータウン地区を望む



2



3



4

成田市とつながろう

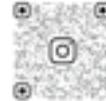
市では、イベント情報や緊急情報など、皆さんの役に立つさまざまな情報をSNSで配信しています。



成田市LINE



成田市広報課Facebook



成田市広報課Instagram

#なりたさんぽ

成田子ども名人戦 3/26

盤上での真剣勝負



1

全国から集まった子どもたちが将棋の腕を競う「成田子ども名人戦」が国際文化会館で行われ、小学生32人が参加しました。16人ずつに分かれて予選ブロックを行った後、各ブロックの1位が決勝へ。決勝進出を果たした2人はプロ棋士さながらに和服に着替え、立ち会い人を務めた木村一基九段や参加者の子どもたちが見守る中、一手ごとに熟考を重ね白熱した戦いを見せました。

1互いに譲らぬ決勝戦 2相手の先を読んで駒を進める
3全国の腕自慢が集う 4木村九段による講評



2



3



4

市立小中・義務教育学校入学式 4/10・11

希望に胸を膨らませて

市内の市立小中・義務教育学校で入学式が行われ、小学生970人、中学生1,169人が新たな一歩を踏み出しました。成田小学校では、担任の先生から自分の名前が呼ばれると大きな声で返事をする新入生の姿が見られました。また、6年生からのお迎えの言葉では学校での過ごし方について話がされ、新入生はこれから始まる学校生活に期待を膨らませながらしっかりと聴いていました。



大きな声で「ハイ！」

※マークが付いたイベントは、Facebookでも配信しています。

野老康宏展アーティストトーク 3/26

戦争の悲惨さを知って平和を願う

戦争の悲惨さと平和の尊さを感じてもらおうと「野老康宏展アーティストトーク」がなごみの米屋 スカイツウンギャラリーで開催されました。講師は本市出身で写真家の野老康宏さん。カンボジアの内戦などで親を失ったり、地雷の被害を受けたりした子どもたちの生活を写真や戦争の遺物を見せながら解説しました。参加者は「孫と同年ぐらいの子どもたちが被害を受けていて悲しい」と話していました。



傷ましい戦争の被害を解説